



バイオリン 湯浅 いづみ

ヴィオラ 七澤 達哉

ピアノ 伊藤 順一



製作家 岡野 壮人

# SPECIAL CONCERT

Takehito  
Okano

## 製作家 × 演奏家

Izumi Yuasa  
Tatsuya Nanasawa  
Junichi Ito

～岡野壮人による新作楽器解説つき～

2023. 7. 29 SAT 開演 14:00  
開場 13:30

三朝バイオリン美術館 2階音楽ホール

### Program

アルペジオーネソナタ イ短調 D.821 / F.シューベルト  
8つの小品 Op.83 / M.ブルッフ 他



司会 本庄 かおり

料金 要予約制

一般：2,000円 学生：1,000円  
\*未就学児入場不可

【主催】三朝バイオリン美術館

ご予約お問い合わせ

三朝バイオリン美術館  
Mail: misasamuseum@icloud.com  
Tel: 0858-43-3111

## 新作楽器紹介 製作者：岡野 壮人

### バイオリンについて

マスターメイド 2023 年制作。裏板、橋板、ネック、橋の部分に brich 材（樺）で製作、brich 材の中でもとても美しい希少な材を使用しております。ニコラアマティからラインをアレンジしたモデルで、C 字のくびれが美しいラインを引き出しています。そして裏板、表板においては柔らかな音質を特徴としたアーチングの設計となっています。

### ビオラについて

2022 年制作。テーマは、「大型のフォルムで適度な輪郭がある音色」です。特のサイズを大きめに設定し、ツァルゲン（橋板）の高さを低めに設定しました。そのため、構えやすさには抵抗がありません。そして、表板から、裏板に伝わる振動リアクションも早く、音の輪郭が離れた距離でも明確に聞こえてきます。2023 年に開催された関西弦楽器製作者協会の展示会において、大型ビオラ部門でサウンド品評会 1 位をいただきました。クレモナからの参加メーカーより評価された点においても大変光栄なことであります。ニスの仕上げはオールドイミテーション。見た目も味わいがあり、視覚、聴覚で楽しんでいただける楽器となります。

### 製作者プロフィール

#### 岡野 壮人 Takehito Okano

鳥取県倉吉市生まれ。2000 年無量塔第六主宰の東京ヴァイオリン製作学校卒業。2006 年プロイス弦楽器マスター工房に勤め、Andreas Preuss の下、楽器製作・修理・修復の技術を学ぶ。2007 年、2 年にわたり夏の間フランスにて研修を積み、2008 年、鳥取にてアトリエ独立。2010 年 Tottori Violin Making School 開校。2013 年みさき美術館、館長就任。2015 年正式に名称変更が決まり「三朝バイオリン美術館」となる。それを機に会社を法人化、株式会社みさき弦楽器プロジェクトの代表取締役。



### 演奏者プロフィール

#### 湯浅 いづみ Izumi Yuasa [バイオリン]

岡山県作陽高等学校音楽科に実技特待生として入学し、卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。第 8 回ベータン音楽コンクール全国大会一般の部第 1 位受賞。サントリーホールブルーローズにて受賞者記念演奏会に出演。第 3 回鳥取県クラシックアーティストオーディション優秀賞受賞。鳥取市交響楽団とソリストとして共演。岡野と 2023 年 10 月にもソリストとしての共演が決定している。また、2022 年第 9 回米子公演のゲストコンサートミストレスを務めた。海外では、鳥取市と姉妹都市であるドイツハーナウ市にてコンサートに出演し好評を得る。現在、全国各地でソロやオーケストラの公演、室内楽などの幅広い演奏活動を行う他、地元鳥取県にてコンサート企画なども積極的に、地域の文化振興活動、後進の育成などにも力を注いでいる。三朝バイオリン美術館ヴァイオリニスト、とっとりチェンバーオーケストラ (TCO) メンバー、鳥取県立西高等学校弦楽部講師、鳥取ジュニアオーケストラ講師、梨 Strings 代表。



#### 七澤 達哉 Tatsuya Nanasawa [ヴィオラ]

東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て東京芸術大学を卒業。2006 年よりカルテット N のヴィオラ奏者として活動。毎年東京オペラシティでリサイタルを開催。第 12 回大阪国際音楽コンクールアンサンブル部門第 1 位、神戸市長賞受賞。第 2 回京次ホール弦楽四重奏コンクール第 2 位受賞。ザルツブルク＝モーツァルト国際室内楽コンクール 2015 第 1 位。東京・春・音楽祭やラヴェンナ音楽祭等に出演。小澤潤一郎室内楽アカデミー奥志賀、サイトウキネンフェスティバル、小澤征爾音楽塾、プロジェクト Q、ヴィオラスペース、リゾナーレ室内楽セミナー等に参加。これまでにヴィオラを川本嘉子氏、川崎和恵氏、市村俊彦氏に師事。2018 年より岡山フィルハーモニック管弦楽団の首席ヴィオラ奏者として活動する傍ら、東京を拠点に全国各地でオーケストラの公演首席や室内楽などでも活動している。



#### 伊藤 順一 Junichi Ito [ピアノ]

東京芸術大学附属高校を経て同大学在学中に渡仏し、パリ・エコールノルマル音楽院をピアノ、室内楽共に首席で修了。その後パリ国立音楽院やリヨン国立音楽院で研鑽を積み、イタリア、クロアチアなどヨーロッパ各地のコンクールに入賞し、各オーケストラと共演。第 4 回日本ショパンコンクール第 1 位。第 47 回日本ショパン協会賞受賞。2021 年第 18 回ショパン国際コンクール本大会出場。同年 12 月、デビューアルバム「プロフォンド」をリリースし、レコード芸術誌 特選盤に選出。現在、神戸女学院大学講師を務める傍ら、首都圏や関西圏を中心に演奏活動を展開している。一節) カンセイ・ド・アシヤ文化財団 第 1 期オフィシャルサポートアーティスト。

